

令和 5 年第 3 回大島町議会定例会一般質問を始めさせていただきます。

さる 5 月 8 日より新型コロナウイルス感染症が感染症法の分類が 2 類より 5 類へ変更され、実質的にアフターコロナの新生活がスタートを切りました。

今夏の大島も 7 月の連休より観光のお客様の来島も多く、また 7 月から 8 月にかけて島内各地区のお祭りも開催され、各地域も 4 年ぶりに活気を取り戻しました。これからは運動会、町の駅伝大会など行事も多くなり、更に「にぎわうしま」となることと思います。

さて、本題へ入らせていただきます。坂上町長は 7 月 27 日より 31 日までの日程で、ハワイ日米協会共催 第 1 回日本ハワイ島姉妹サミットへの参加、およびハワイ島親善訪問をされました。

日本ハワイ島姉妹サミットでは

- (1) 持続可能なエネルギー
- (2) 教育
- (3) 持続可能な観光
- (4) ビジネス・経済

と 4 つの議題が話し合われたことが大島町ホームページ上でも紹介されております。

また、プレスリリース本文中には、

『姉妹関係にあるハワイ州と日本の 6 道・県、姉妹友好関係にあるハワイ州の各市郡と日本の市区町はグループに分かれて会合を持ち、日本とハワイ双方にとって力強い観光産業を構築するためお互い何ができるかを議論した。』

とあります。

今後のハワイ島との観光産業構築のみならず、観光産業は大島の経済を支える重要な産業の一つです。私も 1 期目の一般質問において何度も観光に関しての質問をさせていただきました。

三辻前町長は必ず

『観光産業は裾野が広く、社会経済活動を支える役割が大きい経済成長の即効性の高い産業です。』

という答弁をされました。その通りであり、どなたの異論もないと思います。

坂上町長は 8 つの重点政策の一つに、観光・産業振興を掲げられております。要約させていただくと、ジオパーク、スポーツアイランドとしてリピーターの獲得、来訪者に様々な選択肢の提供とあります。

全国各地の魅力ある観光地の中から、大島を選んでもらえるような施策を講じていかねばなりません。町長就任より、約 4 か月を経た坂上町長ですが観光施策の今後の展開に関して答弁お願いいたします。

また、一つ提案があります。観光アドバイザーの登用に関してです。

寺田直子氏の登用はいかがでしょうか(別紙添付)。寺田氏はトラベルジャーナリストで、現在は大島に在住。波浮港にて古民家カフェ Hav Cafe を経営されております。私も Hav Cafe にお邪魔させていただきお話を聞かせてもらいました。

本人曰く、

『なぜ私が大島にいるのか。この島が好きだから。将来、島の子どもたちがやりがいのある仕事を島で見つけるためにも、観光の持つ力をつけるべきだとずっと思っている。』

私も寺田氏の考え方に大いに賛成です。将来の大島を見据えた観光産業の在り方を今すぐに、考えなければならぬと感じます。

寺田さんのこれまでの経験、知識を活かせばこれまでとは異なる大島の観光の魅力を引き出して頂けると考えます。

是非とも、本気の“検討”をお願いいたします。

もう一点は坂上町長の掲げる

『きぼうのしま』『にぎわうしま』『やさしいしま』という針路に関してです。

この3つの言葉をもとに、8つの重点政策を掲げ、4月の統一地方選挙で当選されました。非常に分かりやすく、大切な言葉だと感じております。

私も、大島町、一町民としてこの3つの言葉を常に頭の中に入れ議員活動をしております。企業でいえば、企業理念であるといってもよいと思います。町役場職員は、常にこの言葉を意識し行動すべきと考えます。就任約4か月が経過し、町役場職員に対してどのように浸透を図ってきたかお答えください。

以上で壇上での質問を終わります。

必要があれば自席にて質問させていただきます。